

経営比較分析表（令和3年度決算）

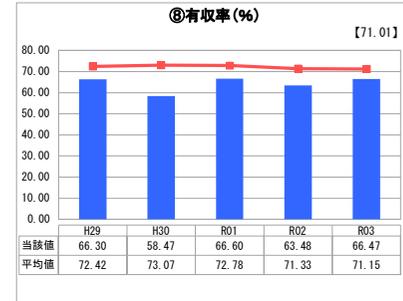
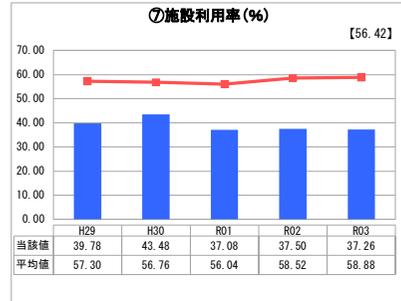
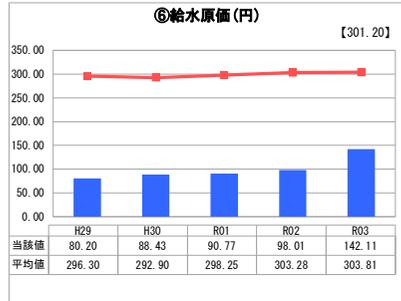
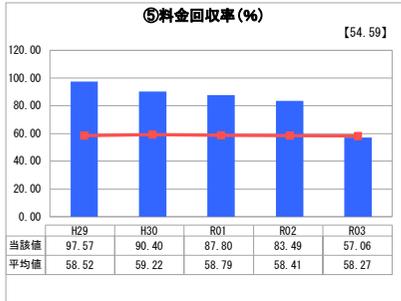
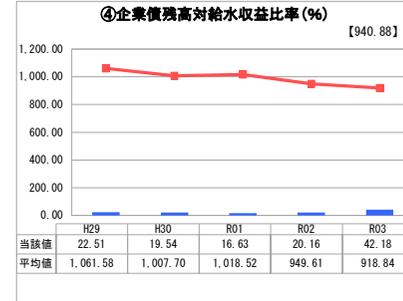
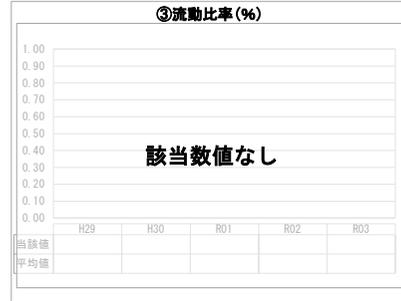
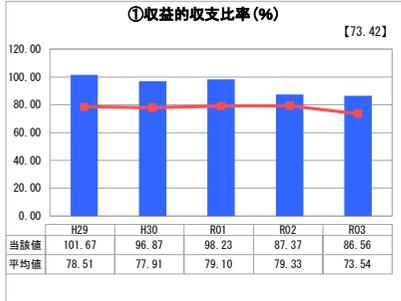
群馬県 川場村

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D3 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 97.18 | 1,320 | |

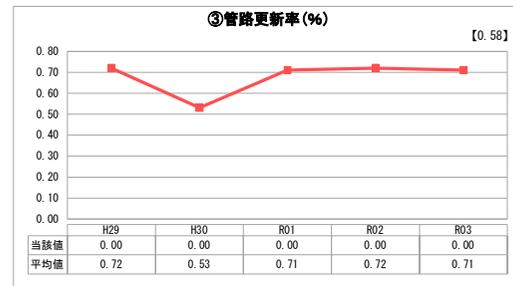
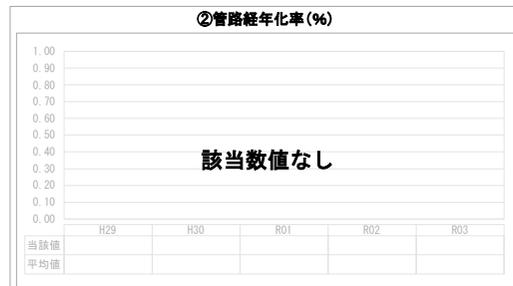
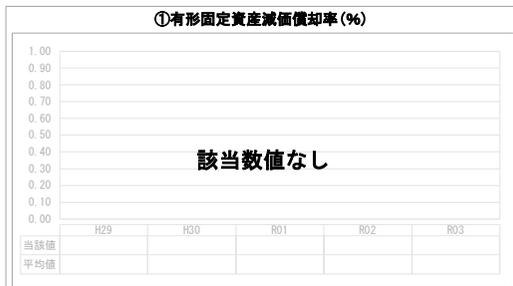
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 3,181 | 85.25 | 37.31 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 3,065 | 62.20 | 49.28 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和3年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「収益的収支比率」をみると昨年度とほぼ同じ比率となっている。全国平均、類似団体平均より高い比率ではあるが、老朽化による修繕等が今後も増加することが予想されるため、料金改定を進めていく必要があると考える。

「企業債残高対給水収益比率」は、全国平均、類似団体平均よりかなり低いが、公営企業法適用に伴い起債を行ったため20%以上の増加となっている。次年度も公営企業法適用に伴う起債を行うため増加予定。

「料金回収率」は、全国平均、類似団体平均とほぼ同じであるが、村では昨年度までと比較すると大きく減少している。台帳不備による管の伏せ替え、老朽化による機械器具の修繕費用等の増加が要因である。

「給水原価」は全国平均、類似団体平均より低いのが年々高くなっているのが現状である。修繕費用等の増加に対して「有収率」は大きな変化がないことが要因となっている。

「有収率」はわずかに増加しており、全国平均、類似団体平均とほぼ同様だが、各種経費の増加を考えると料金改定が、必要である。

以上のようなことから、経営状況が健全とは言えない状態である。

2. 老朽化の状況について

管路の整備後、更新をしていないため、老朽化による破損、漏水等が増加している。

施設設備も最低限の修繕で補っているが、修繕費用は増加しているのが現状である。

施設台帳の整備が済んだので、計画的に改修を進めていく。

全体総括

老朽化対策、管路の更新等、計画的に進め、経費の平準化を図っていく。

また、料金見直しは、今後の財源確保のため大きな課題であるが、管内市町村の現状や村民への説明等も含め、慎重に検討していかなければならない。